

強化競技者規程

(目的)

第1条 公益財団法人日本陸上競技連盟(以下、本連盟という)は、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)において、メダル獲得及び8位入賞が期待されると本連盟が認定した競技者の、本連盟の強化方針に沿った個人強化活動の充実を図るために本規程を定める。

(格付けの基準)

第2条 強化競技者の格付けは2ランクとする。

(1) ゴールドアスリート

- ①強化競技者指定対象国際競技会で8位以内に入賞、またはリレー種目でメダルを獲得した競技者。
- ②強化競技者標準記録対象競技会においてゴールドアスリート指定標準記録を満たした競技者。

(2) シルバーアスリート

- ①強化競技者指定対象国際競技会のリレー種目で8位入賞した競技者。
 - ②強化競技者標準記録対象競技会においてシルバーアスリート指定標準記録を満たした競技者。
- 2 強化競技者指定対象国際競技会、強化競技者標準記録対象競技会及び指定標準記録は、年度毎に本連盟が別に定めるものとし、本連盟は、これを年度途中においても、見直すことができるものとする。

(資格の付与)

第3条 本連盟強化委員会は、競技者が第2条のいずれかに該当し、かつ、当該競技者が第7条に定める強化競技者の義務を遵守することを承諾し、かつ本連盟との間で強化競技者契約を締結することを条件として、当該選手に対し、強化競技者として資格を付与する。

(指定の期間)

- 第4条 ゴールドアスリートの指定期間は、資格を付与された日(以下「資格付与日」という)の翌日から資格付与日が属する事業年度の翌事業年度の末日までとする。
- 2 シルバーアスリートの指定期間は、資格付与日の翌日から資格付与日が属する事業年度の末日までとする。
 - 3 前各項にかかわらず、資格付与の要件若しくは処遇について本規程が改定され、又は、第2条第2項に基づいて本連盟が指定する競技会若しくは標準記録の年度毎の指定若しくは年度途中における見直しが行なわれた場合において、改定後の規程又は、競技会若しくは標準記録の新年度における指定若しくは年度途中の見直しの趣旨に照らし、本連盟強化委員会が必要と認める

ときは、本連盟強化委員会は、指定された期間の中途であっても、指定を解除し、または処遇の変更をすることができる。

(指定の解除)

第5条 本連盟強化委員会は、強化競技者が、次のいずれかに該当するときは、年度途中でであっても、指定を解除し、または強化費の使用を停止することができる。

- (1) 引退した競技者
- (2) 長期間競技会に出場していない競技者
- (3) 居場所情報の提出義務違反や検査未了等、アンチ・ドーピングの理念に反する行動をとった競技者
- (4) 第7条に違反した競技者
- (5) 強化競技者契約に違反した競技者
- (6) その他、本連盟強化委員会が強化競技者として不適切であると判断した競技者

(処遇)

第6条 強化費は、ゴールドが年間400万円、シルバーが年間150万円を上限とし、資格付与の時期により金額は異なる。

なお、強化競技者の処遇の詳細は、本連盟が別に定める。

(強化競技者の義務)

第7条 強化競技者の指定を受けようとする競技者は、次に定める義務を遵守することを承諾すると共に、本連盟との間で、別途、強化競技者契約を締結しなくてはならない。

- (1) 本制度の目的に即して、競技力の向上に努める。
- (2) 正当な理由がある場合を除き、本連盟強化委員会が指定する国際大会に出場する。
- (3) 正当な理由がある場合を除き、本連盟強化委員会が指定する行事に参加する。
- (4) 原則として年1回、本連盟強化委員会が指定する測定及びメディカルチェックを受診する。
- (5) アンチ・ドーピングに関わる全ての基準を適正に順守する。
- (6) 本連盟強化委員会に対し、定められた時期に強化計画の提出と活動実績の報告をする。
- (7) 本連盟強化委員会が必要とした面談に応じる。
- (8) 日本を代表するトップアスリートとして自覚を持ち、メディアからのインタビュー、取材及び撮影などを受けるときは、身だしなみや服装に注意し誠実に対応する。
- (9) メディアへの対応、肖像権等に関する義務は、本連盟が別に定める。

以上

2017年度強化競技者指定に関する対象競技会

1. 強化競技者指定対象国際競技会

- (1) 第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)
- (2) 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)

2. 強化競技者標準記録指定競技会

2017年度の指定は、2017年1月1日～2018年3月31日までの下記競技会を対象とする。

(1) 国際競技会

- 1) 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)
- 2) 第22回アジア陸上競技選手権大会(2017/ランチャー)
- 3) 第29回ユニバーシアード競技大会(2017/台北)
- 4) IAAF DIAMOND LEAGUE 2017
- 5) IAAF WORLD CHALLENGE 2017
(セイコーゴールデングランプリ陸上2017川崎含む)
- 6) IAAF CHALLENGES 2017(混成競技、競歩、ハンマー投)
- 7) World Marathon Majors
- 8) 2017アジアグランプリ 嘉興(中国)・金華(中国)・台北(チャイニーズ・タイペイ)
- 9) 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)及び第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ)日本代表選考要項で指定された選考競技会
- 10) ヨーロッパ陸連公認 Premium Meetings/Classic Meetings/Area Permit Meetings
- 11) 本連盟が日本代表として派遣した、上記以外の国際競技会

(2) 国内競技会

- 1) 第101回日本陸上競技選手権大会
- 2) 2017日本グランプリシリーズ
- 3) 国内指定競技会
 - ① 第26回金栗記念選抜陸上長距離熊本大会
 - ② 吉岡隆徳記念第71回出雲陸上競技大会
 - ③ 2017水戸招待陸上
 - ④ 第28回ゴールデンゲームズ in のべおか
 - ⑤ 第4回木南道孝記念陸上競技大会
 - ⑥ 布勢スプリント2017
 - ⑦ 第14回田島直人記念陸上競技大会
 - ⑧ 第30回南部忠平記念陸上競技大会
- 4) ホクレンディスタンスチャレンジ2017

以上

2017 年度 強化競技者標準記録

男子		種目	女子	
ゴールド	シルバー		ゴールド	シルバー
9.85	9.92	100m	10.82	10.90
19.86	20.01	200m	22.13	22.34
44.19	44.51	400m	49.78	50.10
1.43.02	1.43.57	800m	1.57.40	1.57.84
3.30.18	3.31.42	1500m	3.57.74	4.00.01
12.55.88	13.02.09	5000m	14.34.63	14.53.91
27:03.20	27.14.66	10000m	30.30.17	30.59.17
8.05.54	8.14.28	3000mSC	9.12.24	9.20.16
13.06	13.14	110mH/100mH	12.55	12.64
48.01	48.29	400mH	53.74	54.17
8.38	8.29	走幅跳	7.04	6.95
17.47	17.27	三段跳	14.72	14.55
2.37	2.33	走高跳	2.00	1.97
5.90	5.79	棒高跳	4.80	4.73
21.68	21.20	砲丸投	20.00	19.26
67.98	67.19	円盤投	67.18	65.50
79.92	79.00	ハンマー投	75.75	74.94
87.46	85.97	やり投	66.36	65.08
8550	8435	十種競技/七種競技	6584	6490
2:04:40	2:07:23	マラソン	2:20:37	2:22:55
1:18:28	1:19:11	20km 競歩	1:26:14	1:28:07
3:40:32	3:42:15	50km 競歩		

※2016 ゴールドは世界ランク 4 位平均、シルバーは 8 位平均

※世界 Rank4 位、8 位の記録は 2012、2013、2015、2016 の平均記録で算出